

「生協へいわ歯科」の医療福祉宣言(案)

「生協へいわ歯科」医活委員会

私達の基本的な考え方

1. 口腔機能を維持し向上させることは、生活の質を維持し高めること
 - ・ 歯で噛むことは、「生きる」ことです。咀嚼機能に偏りがあると、脊椎が歪む事もあります。義歯の新製をきっかけに、寝たきりだった人が起き上がる事さえあります。
 - ・ 食べることの大切さ、そして顔貌維持の重要性
生きて行く上で食事は欠かせないものですが、最初の消化器官としての口と歯の役割は殊のほか重要です。また、自分の歯で食べることは生きる意欲の源であり、自立への第一歩と言っても過言ではありません。そして、いくつになっても顔は大切です。歯がきれいになって積極的に人前に出るようになった例は枚挙に暇がありません。
 - ・ 噛める、話せる、笑える.....それらはまさに人間らしさの重要な構成要素となっているのです。口腔機能の維持を図ることは、最後の瞬間まで人間らしい人生を送るお手伝いをする事だと私たちは考えています。
2. 私たちは何をめざすのか
 - ・ 民医連や医療生協の歯科、と言う特別の技術や医療があるわけではありません。私達のめざすものは、大掴みに言えば「歯科医療の在るべき姿」(患者さんの人権を守り得る歯科医療)です。それを、社会的条件が保障されていない中でも実際の診療場面で追及する姿勢が大切だと考えています。
 - ・ あわせて、社会的な保障そのものを要求する取り組みも欠かせません。
 - ・ 以上を、職員と医療生協の組合員とで力を合わせて推進したいと思います。もちろん、医科との連携も不可欠です。

日常診療の総ての場面で、患者さんの人権を守る視点を貫く.....医療のあるべき姿を求める取り組み(その)
かかりやすさ(受療権)の追求

- ・ 働く人々の受療権を守る
サバイバルの手段としてではなく、体制が厳しい中でも、職員間の意思統一によって夜間診療、土曜午後診などを実施します。
- ・ 在宅患者の受療権の保障
経済的保障の無い中でも先駆的に歯科往診・訪問歯科衛生活動などを実施してきた民医連の歴史と伝統を守り発展させます。
- ・ 子供や障害を持つ患者さん、そして小さい子を持つお母さん等にも受療権を保障する.....人権思想をベースにした配慮。(医師や職員の都合で患者を選びません)

医療制度上の不備があっても、必要なことはやり切る医療

- ・ 点数が低い処置や点数そのものが無い場合であっても、治療上必要な事については妥協しません。
- ・ 自費診療については、現在の保険制度の下では避けられませんが、(組合員であることを前提に)良心的な価格設定を行います。子供の歯列不正に対しても、発達保障の一環として、かかり易い価格設定でアプローチします。なおかつ、自費収入に頼った経営にはしません。
自費医療は強度や耐久性・安全性、そして使い心地や審美性などの面でもやはり質の高い医療であり、自己負担の問題さえなければ積極的に選択すべき治療法です

患者さんと職員の双方が納得の行く医療.....「共同の営み」としての歯科医療、「患者の権利章典」の尊重

- ・ 患者さんとの治療計画の共有
患者さんを取り巻く状況を歯科集団として受け止め、患者さんとともに治療計画を立てる努力をします。
- ・ 納得が行くまで説明し、個々の患者さんの生活条件や環境にあわせて、自ら治療方法を選択して頂くよう

配慮します。

- ・ 患者さん自らの医療に対する正当な要求は、基本的人権としてあくまでも尊重します。患者さんの病気との闘いを援助するという立場を堅持し、ブラッシングや入れ歯の管理などの面で、患者さん自身が主体性を発揮できるよう援助します。
- ・ 治療開始後も、歯を残すかどうか等について十分に相談しながら治療をすすめます。

慢性疾患としての歯周病と虫歯への取り組み

- ・ 歯科の2大疾患（虫歯と歯周病）はともに「慢性疾患」である事を明確にし、疼痛や腫脹などの主訴を解消するだけでなく、将来的な咬合を考えての全面的な治療をめざします。
- ・ また、歯周病については、循環器や妊婦への悪影響など全身的な疾患に繋がる可能性も考慮して治療にあたります。
- ・ 専門家 - 歯科衛生士による丁寧な教育と指導歯科衛生士の配置を厚くし、保険診療上の配慮のない「歯磨き指導」なども決して省略しません。
- ・ 縁下歯石の除去やフラップオペレーションなどにも積極的に取り組みます。
- ・ シーラントやフッ素塗布など予防処置にも積極的に取り組みます。
- ・ 虫歯も歯周病も、徹底的なりコールシステムで継続的に管理し、ブラッシング指導 etc.を通じて予防にも結びつけます。

医療内容と技術水準を常に発展させる

- ・ 虫歯から、インプラント・矯正・歯牙移植などの高度医療まで、幅広い総合的な医療活動を展開します。
- ・ 医師が集団として存在する優位性を生かし、その内部での相互研鑽によって一般歯科の技術水準を常に向上させます。
- ・ 全国組織としての優位性を生かしての技術研修を進めるとともに、外部の研修も活用しながら、常に新しく高度な技術の習得に努め、歯科医師集団としてそれを共有するよう努力します。
- ・ 自前の歯科技工士集団を養成し、外注では得られない高い水準の補綴物を作製する努力を続けます。

生協の優位性を生かして、保健予防活動に積極的に取り組む

班会での講師活動、健康チェック、保健大学などへの積極的参加、歯科健診の重視など

診療の基盤としての「民主的集団医療」の重視

- ・ 医師間、及び職種間の関係が対等平等である事が、真の意味での患者さんへの集団的なアプローチを可能にします。その意味で、一般的なチーム医療とは異質のシステムをめざします。
- ・ この事を通じて、医療内容の質の均等化と向上をはかるとともに、疾病と医療の社会性に配慮した取り組みを推進します。

社会保障を充実させる運動に積極的に取り組む.....医療のあるべき姿を求める取り組み（その ）

治療の現場において自らが患者の人権を尊重するだけでなく、社会保障制度の面からも人権の尊重を目指す所にこそ民医連と医療生協の存在意義はあります。

- ・ 「いつでも誰もが経済的な心配をせずにその時々々の最高水準の医療を享受し得る社会保障制度」の実現をめざして、政治や行政に働きかけます。
- ・ 現在自費診療を余儀なくされている治療についても、よりよい医療として総ての人が享受できるよう保険適用をめざします。
- ・ 以上について、医療生協組合員、及び医科や福祉分野その他の諸団体と手を携えて運動を進めます。

その他

- ・ 利用委員会その他を通じての組合員の診療所運営への参加を重視します。